

## 第 89 回メーデー 写真コンクール 審査結果

- 審査会 日時 2018年5月30日(水) 午前10時30分～11時30分  
場所 京都総評別室
- 審査員 溝縁ひろし(日本写真家協会会員)、池田和弘(全京都統一メーデー実行委員会事務局長)
- 応募数 19人・33点 (昨年 16人・28点)
- 総評 生き生きとした作品がたくさん出されている。アングルが工夫されたもの、元気が表現されているもの、スローガンをうまく表現されているものなどポイントを得た作品がよい。バラエティーに富んだ作品が集まった。  
来年は応募数をもっと増えることを期待します。

特賞 京都医労連 松本 紀子

講評 近い距離で人の表情をうまく生かして、動きが感じられる力強い作品。バルーンの色目がまともりがあってよい。



1 席 年金者組合 中浜 雅夫

講評 場所の設定のよさ。鳩のデコを正面からとらえ、旗もアングルに効果的に入っている。全体的にアングルのまとまりがある。



2席 乙訓地労協 井上 治夫

講評 トラックステージで踊っている楽しさが表現されている。「子どもたちに未来を」のローガン通りににぎやかな雰囲気がいよい。アングルがもう少し工夫されればなおよかった。



2席 労働相談センター 稲村 守

講評 メーカーの行進の奥行き感がある作品。横断幕もしっかり入っている。色が少し気になる。



3席 年金者組合西京支部 山田 善彦

講評 アイデアのおもしろさ。絵柄をうまく表現している。



3席 京建労上京支部 榊原 章夫

講評 季節感を出したおもしろさ。花を入れることによって画面に雰囲気が出ている。狙いやアングルがおもしろい。



3席 京都国公 藤田 早智恵

講評 背中に背負った看板でメーデーのイメージ、気合が目に飛び込んでくる。表現のおもしろさがある。



3席 京都医労連 松本 隆浩

講評 気持ちが一体となっているところを寄って撮ることで親しみが感じられる。近づいて撮ることによって表情を引き出す一コマ。



3席 京都総評 永井 宏和

講評 気合の入った情景がよく出ている。沢山の人の一致した動きがあり、メーデーの看板がうまく入っている。

